

平成28年度 学 校 評 価

社会的に自立し、社会の一員としての自覚と責任を備え、自律的・創造的で活力ある生徒を育成する。 (1)生徒一人ひとりが自ら学び、自ら考え、主体的に自己の個性や能力を伸ばし、自己実現を図ることができる「生きる力」を育成する。 (2)体験的活動や多様な取り組みを通して、自己責任を自覚させるとともに社会性を育て、他を思いやる豊かな心を培う教育を推進する。 (3)健全な精神と逞しい体力で勤労観や勤労意欲の醸成に努め、地域社会を支え、その発展に寄与する人材を育成する。	重点 目 標	・個性を伸ばす教育の推進 ・魅力ある学校づくりの推進 ・総合学科教育の推進	学校評価の実施方法についての学校関係者評価	総合的な学校関係者評価
		・自他の人権を尊重し、共に生きる心を育てる教育の推進 ・校内の情報環境の整備と充実 ・信頼される学校づくりの推進	・はじめての評議員であり、学校評価全般について理解していないため非常に難しかった。 ・具体的取組や効果として100点の時の状況(目標)が分かり難いので、評価することが難しかった。	・昨年以上に改善努力されているのが実感できた。今後も頑張ってください。 ・PRが多く今年はいろいろと情報が入手できて良かった。 ・達成状況の評価が適切と感じた。 ・マナーの悪い生徒もたまに見かけますが、挨拶ができる生徒が増え、良好な学校運営ができています。このまま頑張ってください。 ・学校任せにならないように、学校・地域・家庭が連携し、同じ方向に向かって将来の人材づくりに努力すべきである。 ・資料のボリュームから、期中での取り組み報告などからも、先生方の真摯な対応を感じております。

社会的に自立し、社会の一員としての自覚と責任を備え、自: 達成状況(A優れている B良い Cおおむね良好 D要改善) ※A90%以上 B80%以上 C60%以上 D60%未満

評価の観点	No	評価項目	実践目標	具体的方策	達成状況	取り組み状況と改善の方策	評価項目ごとの学校関係者評価
学校運営全般	1	教育目標等の達成	教育目標の達成に向けて各教職員・各部・学年が意欲的に取り組む。	・「学校経営の重点」の教育目標を教職員が共通理解し、部・年次の連携を図り、組織的・意欲的に取り組む。	A	【取り組み状況】 ○前年度の学校評価の結果や今年度の学校経営の重点を職員会議等で提示し、各部・各年次の取り組むべき課題や目標の明確化に努めた。 ○教育目標を全職員が共通理解し、各部・主任がリーダーシップをとり、目標達成のため取り組んだ。 【改善の方策】 ●年度初めに年次会や部会などで共通理解を図り、更なる意識の向上を図る。	★教育目標の達成は大変大切なことです。各部長さん、主任さんご苦労さまでした。 ★先生方の積極的な取組に感動しました。毎年、学校・生徒のレベルアップが感じられます。 ★目標の可視化は重要なので、それが達成度Aであることはいいことと考えています。
	2	学校事務	教育目標に沿った効果的な予算運営を図る。	・教育目標に沿った効果的な予算運営を図り、経費の節減に取り組む。 ・月ごとに経費節減の具体的目標を掲げて意識を高める。	A	【取り組み状況】 ○職員会議等で学校予算の現状を説明し、理解と協力を求め、需用費や旅費経費の削減につなげた。 ○夏場の職員のエアコン使用について極力利用を控えたことや光熱費使用量についてグラフ等で可視化することで節減意識を高めた。 【改善の方策】 ●職員室及び事務室に具体的な経費節減目標を掲示する。 ●廊下・階段・武道場トイレや使用していない教室の消灯を小まめに行う。	★効果的な予算運営を図りすぎると教育に支障が生じるので達成ばかりを喜んではいけないと考える。 ★卒業式にしか体育館に入っていないませんが、とても明るく気持ちよかったです。 ★これについては電力消費量という定量的目標があったことにより、達成度は明確だったろうと推察します。
	3	勤務時間の適正化	定時退勤日を週1回設定し、完全実施を目指す。教職員の職務に対する意識改革を行い、学校業務の改善に積極的に取り組む。	・毎週水曜日に定時(18:30)退勤日を設定し、メリハリのある勤務を実現する。とりわけ第3水曜日は8割の人が定時退勤できるようにする。 ・部主任が退庁の声かけを実施する。	D	【取り組み状況】 ○毎週水曜日18:30、月に1度16:40に帰る定時退勤日を設定したが、完全実施はできなかった。 ○月2回あった職員会議・校務運営委員会を1回にし、会議回数の削減を図った。 ○グループウェアを採用し、朝の打ち合わせ時間の短縮と情報共有を図った。 ○起案文書の簡略化を図った。 【改善の方策】 ●定時退勤日等の完全実施の呼び掛けを部長や主任が行うことで、早く帰る雰囲気を作る。 ●H29年度から週2回のノー部活デーを実施する。	★定時退勤ができない理由は何でしょうか。特定の先生なのか、仕事量の違いなのか、個人の要領の問題なのか、原因をはっきりさせて改善に取り組んでいけば良いと考えます。 ★このような活動の背景には超過時間の長さが問題として挙げられたのだと推察し、施策はより具体的でした。しかし達成度がDであるということは何故そうなったのかという考察が必要ですが、それがあまり見られません。 ★「ノー部活デー」は、部活顧問の負担軽減を図ることからも必要と思うが、一般ボランティア(外部コーチ、経験者)の登用を検討してはいかがだろうか。そうすることで部活日数を減らさずに対応していただいたい。
開かれた学校づくり	4	家庭や地域への情報発信	学校のホームページや各種の通信等マスメディアを活用して、学校のさまざまな情報を公表する。	・学校ホームページは、ユニバーサルデザインに配慮し、必要な情報を迅速に提供する。 ・地元ケーブルテレビ、新聞、報道機関に積極的に情報発信する。 ・学校だより、生徒会新聞、各部・年次通信の発行を通して学校の情報を提供する。	A	【取り組み状況】 ○ホームページについては、学校行事や部活動など積極的な情報発信に努めた。 ○学校通信を中学校13校、朝来・養父両市役所や各支所に持参し、掲示していただくことで広報活動に努め、地元報道機関への取材要請や情報提供を積極的に行い新聞等に多くの記事を掲載していただいた。 ○専門部、各年次の代表者がメール配信できるように、研修会を行った。 【改善の方策】 ●今年度と同様、神戸・朝日・読売新聞やケーブルTVへの情報提供を積極的に行い、PR活動の強化に努める。	★メディアを利用し、PRや情報の発信には注力されていて取組の特色の一つと感じています。 ★積極的に情報発信されており感心しました。更なる取組に期待します。また、保護者からの感想も聞いていくことが大切だと感じました。

評価の観点	No	評価項目	実践目標	具体的方策	達成状況	取り組み状況と改善の方策	評価項目ごとの学校関係者評価
開かれた学校づくり	5	学校評議員制度等を利用した学校運営の推進	学校評議員会を充実させ、学校運営に反映させる。	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価も含めた学校運営全般について意見を求め、学校運営に反映させる。 公開授業や各種の学校行事への参加を案内し、学校・生徒を理解してもらう機会とする。 	A	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化祭・体育大会・総合学科発表会などを見学していただき本校の取組を見ていただいた。 ○いただいた意見を全教職員に周知し、学校運営に反映させるように努めた。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●次年度も学校評議員会だけでなく、行事等に参加していただき多くの意見を伺うように努める。 	<p>★学校・生徒の様子がよくわかり、評議員として参加できたことを感謝しています。本制度の継続を望みます。</p> <p>★我々のような教育の素人の意見でいかほどの参考にしていただけるのか恐縮ですが、願わくは学生さんと直接話してみたいです。</p>
生徒指導	6	生徒の内面的理解に努める工夫	生徒面談等を密にし、定期的に教育相談係と連携し問題行動等の未然防止策の工夫を行う。	<ul style="list-style-type: none"> トラブルが発生しやすい1年次生全員と面談を実施する。 いじめの早期発見、解決に努める。 あらゆる機会を通して生徒に接し、生徒の内面理解をおこなう。 教育相談係と定期的に協議・情報交換を行い、指導方法を共通理解する。・LHRが生徒の内面理解の場となるよう計画的に運営する。 	A	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年次生全員面談を行い、教員と話しやすい関係づくりに努めた。事後の生徒アンケートの結果74.3%の生徒が「実施して良かった」と答えている。 ○いじめアンケート（現在まで4回実施）を実施した。「いじめがある」と答えた全生徒と面談を行い、いじめの早期発見・早期解決に努めた。 ○「青年期の心の危機にどう向き合うか」という内容で講演会を実施（11月）し、事後の感想文により生徒の内面理解に努めた。 ○県立教育研修所の出前授業「いじめ未然防止プログラム」を活用し、生徒のコミュニケーション能力の向上を目指したLHRを実施した。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1年次生全員面談アンケート結果で「よくなかった」と答えた生徒の理由は「面談の時間が短い」というものであったため、必要に応じて別途面談時間を設定する必要がある。また、来年度は他学年でも実施し、生徒との対話の時間をつくるように努める。 ●いじめの定義について、生徒と教員に再確認を促し「いじめの芽」「いじめの兆候」を見逃さないようにする。 	<p>★いじめの原因を正しく理解してやり、保護者の協力をあおぐことも必要だと思います。入学した目的を再確認させると同時に、社会人になってからも影響が大きいこともしっかりと自覚させてもらいたいです。</p> <p>★非常に意義深い活動であると思います。アンケート結果からもポジティブな回答が多数であり、ネガティブな回答も中身は「もっと(面談時間)を長く」と実質ポジティブな回答であったことから、要求と方策が一致した良い活動をされたと感じています。</p>
	7	生徒の自主・自立を育む指導の工夫	生徒の自主性や主体性が図られるように、生徒会活動の活性化に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事を生徒会執行部を中心に、自主的・主体的な活動として生徒会活動を機能させる。 和高祭や学校行事等に生徒が前面に出て活動ができるようにサポートする。 	A	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オープン・ハイスクールでは、生徒会役員が中学生に対して和田山高校を紹介し、好評を得た。 ○全校集会（月1回）や和高祭、体育大会、対面式、離任式、球技大会等の活動において、生徒会が積極的に関わり、自主性や主体性を育んだ。 ○図書委員による図書館の環境整備、風紀委員会による挨拶週間、美化委員会による美化週間の実施等、生徒会活動の活性化に努めた。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オープン・ハイスクールに留まらず、生徒会を中心としたメンバーで朝来市の中学校に出向き、和田山高校の魅力を伝える活動を実施する。このことは高校生にとっても学校に誇りを持ち、自らの自信にもつながる活動と考える。 	<p>★生徒会のみでの活動ではなく、和高中生全員が憧れの存在となるよう、今後も工夫した取組をお願いします。</p> <p>★校外のアプローチはさらに良い経験になると思いますので、改善の方策の内容は良いと思います。</p>
	8	部活動の活性化に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 顧問が指導に携わり、指導内容の充実と積極的な部活動の運営を図る。 効果的な部活動の運営や、入部率を上げる取り組みとして体験入部期間を設定し、1年次生全員が3つ以上の部活動を見学する。 	C	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○顧問は放課後だけでなく、休日にも熱心な指導を行っている。 ○全生徒、全職員をボランティア部として登録し、災害保険に加入したことで、ボランティア活動に参加した時の事故や怪傷に対応できるようになった。 ○体験入部期間の設定や部員勧誘ポスターの掲示を早め、新入生の入部を促した。 ○部費の予算要求について調整を図り、予算編成の適正化に努めた。 ○壮行会を実施し、全校生で部活動を応援する雰囲気を作るとともに、大会結果を生徒会新聞で公表したり、入賞者を全校集会で表彰した。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●部活動加入率を増やすだけでなく、部活動に参加するようなバイタリティーのある生徒の社会性を高め、学校全体に「時間厳守」「美しい環境作り」「挨拶実行」の雰囲気を作りたい。 	<p>★部活動の全員参加は無理ではなかろうかと思いましたができるだけ参加させてほしいです。クラスはクラス内だけの関係ですが、部活動は縦の関係が形成されてその意義は大きいと思います。</p> <p>★部活動も多様な通学形態や遠距離通学の問題から、生徒本人や家族が色々と考えなければならぬ実態がある。だが、学業と同様に部活動は重要なので、短時間でもいいので効率よく実施することはできないのだろうか。</p> <p>★一般社会人（保護者で部活経験がある方など）の協力を得ながら、部活を通して人との関わりを学べる人間形成の場となればと思います。</p> <p>★「ノー部活デー」との兼ね合いでしょうか。相反する方策の両立が難しいと思われます。</p>	

評価の観点	No	評価項目	実践目標	具体的方策	達成状況	取り組み状況と改善の方策	評価項目ごとの学校関係者評価
進路指導	9	進路指導体制の充実	年次と連携し、3年間を見通して計画的・組織的な進路指導を推進する。	・キャリア教育委員会や進路検討会・研修会を開き、各年次と期的に開催し、各年次と連携を図り、組織的な指導計画を設定する。	A	<p>【取り組み状況】</p> <p>○3年次の進路検討会・研修会を必要に応じて実施し、生徒の進路情報の共有化を図った。</p> <p>○進路指導のスキルアップを図るために、外部講師を招いて小論文指導に関する職員研修会を実施した。</p> <p>○調査書・推薦書の作成に関する職員研修会を実施した。</p> <p>○各年次の生徒に合わせて進路ガイダンスを行い進路意識を高める機会とした。</p> <p>○1・2年次との連携については、手が回らず、各年次に負うところが大きかった。</p> <p>【改善の方策】</p> <p>●多くの職員の情報の共有化を図る機会を増やし、組織的な進路指導につなげる。特に、年次との意思疎通を日頃から図るとともに、キャリア教育部内の各年次担当を設けるなどの対策を取りたい。</p>	★高校時代の進路指導ほど難しいものはない。 ★キャリア教育はとても良い取組だと思います。そして壁にぶちあたっても挫けない心もしっかり教えてください。 ★入学当初から進学・就職コースと希望をとりながら3年間を通して一貫した教育体制づくりを教諭間の連携が必要だと感じます。 ★研修などによる指導の質向上に努められているのは素晴らしいと思います。
	10	進路結果の分析と評価。	進路結果の分析と評価。	・全教職員が進路結果の分析と評価を行い、次年度の指針に役立てる。	C	<p>【取り組み状況】</p> <p>○3年次生の進路決定情報を職員に提示し、進学者については入試形式についての情報を共有した。</p> <p>○本校生徒の模試結果について、職員に提示して情報を共有したが、職員全体の問題意識に繋がりにくい面があった。外部の講師による研修会の実施を予定していたが、担当者が2度にわたって替わり、協力が得られにくい状況であった。</p> <p>【改善の方策】</p> <p>●模試・進路マップの情報を職員全体で共有し、有効活用を促したい。そのために、様々な切り口で情報を提示し、指導の方法広げる一助とするための工夫をしていきたい。</p>	
	11	職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	職業観・勤労観を育成するキャリア教育の充実に努める。	・「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」、LHRを中心にキャリア教育に取り組む。 ・各種ガイダンス、講演会等を実施する。	A	<p>【取り組み状況】</p> <p>○「キャリアセミナー」、「産業社会と人間」、3年次の就職者面接等で、外部講師を招き、進路意識の向上を図った。</p> <p>○就業体験を通し、職業に対する意識を高め、勤労観を養った。</p> <p>○「産業社会と人間」では地域の教育資源の積極的な活用を図り、より実効性のあるキャリア教育の取り組みを増やした。</p> <p>○ガイダンス等に招く大学や専門学校について、本校の進路指導の観点から選択的に依頼した。</p> <p>○進路指導室を利用し、積極的に情報収集したり相談したりする生徒が増えて、進路意識を高めることができた。</p> <p>○3年次の生徒について、進路選択に向けて、生徒が自己理解を深めて前向きに取り組めるように、指導に取り組んだ。とりわけ、面接指導では多くの職員の協力による指導ができた。</p> <p>○2年次生の「総合的な学習の時間」のために、資料提供や模擬面接への参加などの形でバックアップを行ったが、年間を通しての計画的なサポートができなかった。</p> <p>【改善の方策】</p> <p>●キャリア教育の推進に充てる「総合的な学習の時間」の活用について、年度当初から実施計画を共有し、年次との連携をさらに深める。</p>	★全員の活動参加をと言いましたが、部活動をしながら、社会と触れ合うのはとても難しいです。アルバイトが良いとは思いますが、社会と触れ合い金銭感覚を磨くことは大切だと思います。 ★キャリア教育は極めて重要です。今後も続けてください。 ★高校生に向けて、という観点では十分な取組をされているのではないかと感じています。
教職員の資質向上	12	実践的指導力の向上	公開授業週間を利用する等、各教科の授業研究を行うことにより相互の指導力向上を図る体制を整える。	・授業研究を実施し、教科指導力を向上させる。 ・授業評価アンケート等を活用した授業分析を行い、職員間で研究結果を共有する。	A	<p>【取り組み状況】</p> <p>○オープンスクールに合わせて、公開授業週間を設け、授業分析と指導力向上のための研究を実施した。</p> <p>○授業に関する研修を実施し、その内容をテーマとした授業を、公開授業週間に実施する取り組みを行った。</p> <p>○生徒を対象にした「授業に関するアンケート」を実施した。</p> <p>【改善の方策】</p> <p>●授業評価の自己分析と、教科会などによる職員相互の分析を図り、より良い授業にするための研究をさらに進める。</p>	★アンケート結果を存じ上げておりませんが、改善すべきところがあれば、更なる指導力向上に努力をお願いします。 ★先生方自身より、工夫改善を継続されようとしておられる状況が感じられました。
	13	計画性を持った研修の実施	学校の諸課題について計画的に研修を企画・実施する。	・各部による研修を計画的に実施し、実践的指導力を向上させる。	A	<p>【取り組み状況】</p> <p>○年度当初に各部で研修計画を検討し、予定通りの研修を実施することができた。</p> <p>【改善の方策】</p> <p>●他の行事や補習などにより、研修に参加できない状況が見られた。実施時期などできるだけ早い段階で全職員に知らせ資質の向上を図る。</p>	★先生方はもっと自分のしたいことをして、それを生徒に教えるように努力してはどうでしょうか。 ★研修などによる指導の質向上に努められているのは素晴らしいと思います。

評価の観点	No	評価項目	実践目標	具体的方策	達成状況	取り組み状況と改善の方策	評価項目ごとの学校関係者評価
危機管理体制の整備	14	実効ある危機管理マニュアルの策定	各種危機管理マニュアルを作成し、教職員に周知徹底を図るとともに、学校防災・防犯体制の充実に取り組む。	・危機管理対応マニュアルを職員会議・研修会等で教職員に周知徹底を図る。 ・防災や防犯に関する情報を生徒・保護者に周知し、危機回避に努める。	A	【取り組み状況】 ○緊急対応マニュアルを策定して、緊急対応時の心構えや内容、危機管理について職員会議で周知徹底するとともに、警報対応など役割分担を明確にし、メール配信サービスやHPを活用した情報を早期に提供した。 【改善の方策】 ●次年度の緊急対応マニュアルや消防計画の早期完成を目指し、それを活用した防災教育の充実を図る。 ●朝来市地域振興課と連携して、二次避難所としての計画を進めていく。	★命を守ることが最大の課題です。命は自分で守るのです、他人が守ってくれません。どうしたら自分の命を守れるのかしっかりと勉強し、しっかりと生徒たちに教えてあげてください。 ★繰り返しの取組が必要だと感じます。今後も生徒に対して周知をお願いします。
	15	生徒に対する防犯教育の徹底	安全教育の全体計画に基づき、危機的事態への適切なスキルを身に付けさせるさせる。	・安全教育に関する講演会等を実施するとともに、全校集会での講話や日ごろの指導を通して、危機に対する意識を高める。 ・ネットトラブルから身を守る方法など、状況に応じた講話を企画する。	A	【取り組み状況】 ○メール配信サービスを活用し、不審者の情報を迅速に伝えることができた。 ○熊本県震災ボランティア活動に4名の生徒が参加した。この活動を通じて「遠いところだから出来ない」ではなく、困っている人に対しては「できることで最大限の支援を行う」というメッセージを発信することができた。 ○熊本県震災ボランティア活動報告会を実施した。被災地の現地の様子を報告することで、安全への意識を高める活動になった。 ○ネットトラブルについて全校集会で注意を促し、安心安全な学校づくりを全校生に呼びかけた。 【改善の方策】 ●更に薬物乱用、ネットトラブル、交通事故、地震への対応なども考え安全教育を推進する。	★熊本のボランティア活動は、本当に的確で有意義でした。また朝来市のやさしい方々に助けられましたね。そして元気のある4名の生徒を見つけましたね、立派です。 ★災害ボランティアの経験は良かったと思います。今後も継続を検討していただきたいと思います。また、高齢者への声掛け運動などにも積極的に取り組んでほしいです。 ★ボランティアの動きなど、義務だけでなく能動的な活動があったことは良かったと思います。
自ら学び考える力の育成	16	体験的・問題解決的な学習の展開	体験的な学習を通して自ら学び考える力を育成する。	・「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」等で、主体的に学ぶ力を身につけさせる。 ・体験的な活動ができるように工夫する。	A	【取り組み状況】 ○企業見学(2年次)では、各クラスが3つの事業所を見学した。就業体験では、朝来市・や養父市の50の事業所でインターンシップを実施したが、希望する職種・事業所で実施できない場合があった。 ○「産業社会と人間」で実施した政治的教養を高める教育では地域が抱える問題を議論させ、模擬投票を実施した。 【改善の方策】 ●地域的な制約もあるが、さらに広く、地元の事業所の協力を求めていく。	★商工会との連携を更に進め、多くの事業所に協力をしてもらえようように依頼を続けていく。 ★受け入れ側としては、いろいろな生徒さんがいる中で、不真面目な、または明らかに興味のない姿勢の子がいることが気になると意見をよく耳にします。どうしても、そういう子のほうが目立つので、結果全体として学校のイメージも悪くなっています。
	17	生涯学習の視点に立った実践能力の育成	在り方生き方を考えさせ、興味・関心・進路などに応じて意欲的な科目選択ができるように指導する。	・自分を見つめ、「自己の在り方・生き方」を考えさせる指導を行う。 ・各自の興味・関心・進路希望に応じた科目選択ができるように指導する。 ・担任・教科によるキャリアカウンセリングの体制をつくる。	A	【取り組み状況】 ○各自の興味・関心・進路希望に応じた科目選択を推進するための「科目選択ガイダンス」を実施したが、より適切な選択を進めるための職員間連携には課題が残る。 ○コースおよび進路系統別のモデルプランを活用した。 【改善の方策】 ●教育課程の見直しと設置科目の精選を行い、本校の実情に応じたより適切な教育課程を再構築する。	★人は体験することが大切です。特に高校時代には続けてください。必ず将来役立つことがあるはずですよ。 ★新年度における改善について、指導者と生徒の成長に期待しています。 ★これは和田山高校の特徴であり、十分に活かされていると感じます。
	18	評価方法の創意工夫	多様な生徒に対応するため明確な評価規準を作成し評価方法を確立する。	・各教科・科目ごとに評価規準を工夫し、具体的な評価方法を作成するとともに、生徒に明確に告知する。	B	【取り組み状況】 ○教科・科目の特性に応じた評価方法を研究し、生徒の実態に応じた適切な評価を行ったが、評価の観点などに不明瞭な部分が見られる。 【改善の方策】 ●教務規程の内規見直しにより、観点別絶対評価を実施し、学校としてわかりやすい評価の観点を明示する。	★人間が人間を評価するのは難しいです。 ★この資料からは詳細は分かりませんが、不公平感の排除は重要であり、ガバナンス整備に取り組むることなので、よろしくをお願いします。

評価の観点	No	評価項目	実践目標	具体的方策	達成状況	取り組み状況と改善の方策	評価項目ごとの学校関係者評価
基礎・基本の定着	19	生徒の学力の把握と個に応じた学習指導の工夫	生徒の学力を適切に把握し、個々に応じたきめ細かい指導に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・チームティーチングや個々の生徒に応じたきめ細かい目標を定め、指導を徹底する。 ・少人数講座による基礎学力向上のための指導を通じて、高等学校の学習につながる授業展開を行う。 	A	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チームティーチングによるきめ細かな学習指導と、習熟度別・少人数授業を展開した。 ○基礎学力の定着および学力伸長を図るための授業を実施したが、個別指導による学力伸長を目指す必要である。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●少人数指導による学習効果を高める指導の研究をさらに進めていく。 ●放課後などの時間を活用し、英語や商業など資格取得に向けた学習指導体制を強化する。 	<p>★すべての評価がAでなくて安心しました。これが本当の姿ではないでしょうか。</p> <p>★和高生徒の活躍を新聞などで紹介され誇らしく感じます。一層の学習指導をお願いします。</p> <p>★当人に左右される部分が大きく、永遠のテーマ的な部分もあるので、難しい課題と存じますが、多くの工夫をしてくださっている状況を有難く感じました。</p>
	20	学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	興味・関心を持って学ぶことができ、分かる授業を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価を行い、授業改善に努め、分かる授業の実践に努める。 	B	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業に関するアンケート分析や研究授業分析を実施し、情報共有及び授業改善を行った。 ○電子黒板の活用やユニバーサルデザインを意識した授業など、興味・関心や分かりやすい授業方法の研究を行った。 ○アンケート結果から、生徒の主體的・能動的な取り組みに不足が感じられた。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ICT機器のより積極的な活用を推進するなど、分かりやすい授業のための研究を進める。 ●生徒が主體的・能動的に学習に臨む授業の研究を推進し、自ら学ぼうとする意欲と態度を育てる。 	<p>★当人に左右される部分が大きく、永遠のテーマ的な部分もあるので、難しい課題と存じますが、多くの工夫をしてくださっている状況を有難く感じました。</p>
	21	学習習慣確立の指導	生徒の家庭学習習慣確立のための指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な家庭学習の指導と、教科・年次等による学習課題の指示や小テストの実施によって家庭学習の習慣化を図る。 ・生徒の実態に応じた、学習課題のあり方を研究する。 	C	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年次生向けには、高等学校での学びのための初期学習指導を行った。 ○週末課題や長期休業課題、課題に関連したテスト等を実施し、家庭学習の習慣化を目指した。 ○課題の出し方、家庭学習の定着へむけた取組に改善の余地が見られた。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生徒の習熟度に応じた課題の出し方の研究を進める。 ●家庭学習定着に繋がった手法を教科間で共有し、学校全体の取組として発展させる。 ●長期休業中課題については、各教科のバランスを考える。 	<p>★家庭においてもしっかりと学習環境をととのえ、保護者と連携した取組を進めていってほしい。</p> <p>★効果があった方法や各教科間バランスの検討など、先生方の協力体制が感じられ組織的な指導をいただいているものと感じています。</p>
総合的な学習の時間	22	教職員の協働体制の確立	総合的な学習の時間の位置づけや内容について共通理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次では、「自己の在り方・生き方」を考えさせ、希望進路を具体化させる。 ・3年次では、自己を十分理解し、進路実現に向けた取り組みをする。 	A	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ練習をととしてプレゼンテーション能力を磨くことができた。進路研究についてはさらに効果的な取組が必要である。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●進路研究の時間を増やすこととその内容について動機付けとなるようなマニュアルを作る。 	<p>★質の高いプレゼンテーションを聞けて感動しました。今後とも積極的な指導・取組をお願いします。</p> <p>★スピーチによる場数を踏むことで自信をつけることにもつながり、有効だと感じました。</p>

評価の観点	No	評価項目	実践目標	具体的方策	達成状況	取り組み状況と改善の方策	評価項目ごとの学校関係者評価
防災・安全教育	23	教員の防災教育に係る指導力・実践力の向上	救急・災害時における生徒の安全確保の意識と技術の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急講習会を実施し、生徒の安全確保に努める。 防災訓練を実施することにより、生徒の避難誘導と安全確保に関する教職員の意識と技術向上に努める。 	A	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動部の生徒を中心に7月にAEDの使用法など救急救命法について、実施した。 ○防災訓練を早い時期で実施することができた。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●緊急時の対応などにつなげるため、防災訓練と合わせて全校生に対して命の大切さなどの講演会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★救命救急講習会は受けた方が良いです。AEDの使用は特に命にかかわる問題です。 ★普段の生活の中では、なかなか自発的にこのような内容にふれ、考える機会がないので、学校の授業やイベントに取り入れることが貴重な体験になると感じました。
	24	実践的な安全教育への取組	通学路の安全確保と安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路での立ち番指導を行い、自転車の二人乗りや傘さし運転の禁止等交通規則の遵守を指導する。 	A	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路の工事等について、保護者宛文書、メール配信サービスを迅速に行った。 ○毎朝、職員による立ち番指導（駅、通学路、校門付近）を実施し、交通ルールの遵守指導を行った。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交通ルール違反（二人乗り、傘さし運転、ながら運転等）をする者については、家庭、年次、生徒指導部がさらに連携を深め、指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「ながら運転」をする男子も女子もよく見かけます（帰宅時、下校時）。命を大切にする教育を続けてください。 ★普段の生活の中では、なかなか自発的にこのような内容にふれ、考える機会がないので、学校の授業やイベントに取り入れることが貴重な体験になると感じました。
人権道德教育	25	道德教育推進体制の確立	道德教育の推進体制を確立し、その充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・道德教育の全体計画に基づき、年次ごとの適切な年間指導計画を作成し、計画的に実施する。ホームルームを核に、あらゆる機会を通して、人権を相互に尊重し人としての生き方・あり方を考えさせる。 	B	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○LHRやボランティア活動などを利用して、生徒が他者を理解し人権について考える機会を設定し、人権意識の高揚に取り組んだ。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活指導・教育相談との連携をさらに深め、生徒が自ら人としての生き方・あり方を考えられるよう、職員全体の共通理解を図り、更なる意識の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ★教える側の方の人権感覚がしっかりしていなければいけない。 ★人権・道德・防災・安全教育を通して「命」の大切さを学ぶ取組として、外部講師を招き徹底して取り組んでほしいです。 ★なかなか高校生くらい年齢の人たちが真剣に考えることの少ないテーマかと思います。先生方の取組も難しいテーマであると思われるのですが、達成度Bとした不足分は何だったのでしょうか。
体験活動	26	高校生就業体験事業	高校生就業体験(インターンシップ)事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が進路を考える上で役立つ職場で就業体験(1年次対象)を実施する。準備段階から企業等との緊密な連携を図り、意味のある就業体験にする。 	A	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就業体験事業において、事前指導、就業体験本番、事後指導の段階的指導を計画的に実施した。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受け入れ事業所が年々減少傾向にある。豊岡市との連携をとり新規の受け入れ先の確保に努める。また、地元中学校と事業所情報の共有化を図り、受け入れ先の確保に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ★体験活動(実習活動)について、最近家で仕事を手伝う機会がなくなった(少なくなった)ので、生きる力が弱くなったように思います。頑張ってください。親に感謝する心も多く養われるはずですよ。 ★豊岡市との連携とは具体的にどんなものでしょうか。 ★実際に仕事そのものを体験することも良い経験になるように思いますが、いろいろな年代の「大人」が仕事に対してどの様な考えを持っているのかを聞くことも「感じる」ということでは何かしらの気づきにならないかと考えます。
	27	高校生ふるさと貢献事業	ふるさと貢献活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のさまざまな行事に参加し、地域の人々との交流を行う。 ・できるだけ多くの生徒がボランティア活動や清掃美化活動に取り組むことができるように、情報発信に努める。 	A	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今年度は全生徒がボランティア部に所属し、全教員が顧問として活動することに決定し、熊本地震復興募金活動をはじめ、11回の各種のボランティア活動に参加できた。 ○吹奏楽部や陸上競技部が部活動の一環として交流活動や演奏活動に参加した。また学校設定科目「ボランティア実践」では福祉施設との交流を深めた。 <p>【改善の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアに参加する際の呼びかけをさらに充実させ、1人でも多くの生徒がボランティアに参加できるように生徒会を中心に呼びかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ★OBの人たちと交流したり会話をしたりすることは良いと思う。先生方と違った考え方や経験を持った人と話をする場を増やしたらいいと思う。 ★折角の取組ですので、地域自治協議会などへ本事業のPRを図るべきだと思います。 ★貴校のこれについての取組は活発であり、特筆すべき成果と考えています。